



家族や子どもに何かあったとき  
誰が守ってくれるでしょうか  
もちろんそれは医療です  
でも私たちにもできることがあって  
それが地域の医療を守ることにつながることを  
皆さんは知っていますか

# 守っていききたい、わがまち医療

～小児救急の取り組みから～



写真上：手順を確認しながら心肺蘇生法を体験  
写真右：人工呼吸のポイントを説明する消防署職員  
写真下：乳児の人形を使った異物除去の実習



上の写真は5月19日に湯原つどいの広場で行われた小児救急講習会の様子。真庭消防署湯原分署の職員2人が、心肺蘇生法や子どもが誤飲などした際の異物除去の仕方を指導し、子育て中の母親やつどいの広場スタッフが、もしものときの対処法について学びました。真庭市内ではこのように、小児救急をテーマにした研修会やさまざまな啓発活動が行われています。なぜ真庭で小児救急なのか。小児救急の取り組みから、地域の医療について紹介します。

## 知っておけばやっぱり安心

小児救急の講習は受けたことがありますが、こうして実際に人形を使ってみたのは初めて。実技をやってみると分かることもたくさんあって、参加してみても本当に良かったです。幸いこれまでは、子どもに何かあって病院に駆け込むといったことはありませんでしたが、事前に知っておけば安心ですよね。これでいざというときに、慌てることなく対処できるかな。



横辺美菜さん  
(下湯原)



井上康二郎 真庭保健所長

## 非常に優れた真庭地域の医療 しかしそれを守っていくためには 地域全体の取り組みが必要です

真庭地域の医療はどうか。その現状やこれからの課題について、岡山県真庭保健所の井上康二郎所長にお話を伺いました。

インタビュー① 真庭地域の医療の現状は？

### 県北でありながら高い医療水準

一般的に中山間地の医療というと、何かと課題の面ばかりが取り沙汰されがちです。しかし、真庭地域の医療はというと、むしろ良い面が目立っているのが現状です。もちろん、専門性や交通の面など、都市部と比べると及ばない部分はありません。ですが、ほとんどの疾病の治療を地域内で完結できており、かなり水準の高い医療を提供しているといつても過言ではありません。とりわけ救急医療の面の充実が県南にも引けをとらないでしょう。診療時間外も救急搬送を受け入れる病院を救急

告示病院といいますが、真庭地域には6カ所もあります。いわゆる救急の「たらい回し」という実態は見られず、新見市など域外からも受け入れているほど。県北に位置しながら、県南に依存していないのは素晴らしいことです。

### 地域医療を支える医師会のまとめ

これを実現している要因は、医師会（医療機関）のまとめ、それとも一つは医師と地域との良好な関係でしょう。医師会では、定例的な研修会や若手の勉強会をするなどし、地域医療の充実に真剣に取り組んでいただいています。住んでいると気付きにくいことですが、真庭の地域医療のあり方は優良な事例といえます。全国的な評価は、まるで「真庭に学べ」といわんばかりです。

### 課題を見つめ地域でできることを

真庭地域では、小児科医や外科医など医師の確保が課題の一つとなっています。その問題を抱えながらも医療が充実しているという現実、医師一人一人にかなり負担が掛かっているということの意味します。これをただ「頑張っていたらいい」と見過ごしては、地域の医療を守っていくことはできません。そこで、真庭保健所管内では、平成22年度に真庭地域医療再生計画推進協議会を設置。その中の救急部会で、二一ズに対して医師の少ない「小児救急」に重点を置いて、研修会や出前講座などを定期的に行っています。地域や家庭でまず対処できることは何か、それを考え実行していくことが地域医療を守るための第一歩ではないでしょうか。

## 行動する勇気につながります

救急車が現場に到着するまでにはどうしても時間がかかります。ですから、心臓や呼吸が止まった人の命が助かる可能性は、そこに居合わせた人の救命処置による部分が実は大きいのです。小児救急の講習は増えてきましたが、このような機会にしっかり身に付けていただきたいとします。何より知っているということは、いざというときに行動を起こす勇気につながります。心停止の予防から119番通報、心肺蘇生法まで、落ち着いて対処することができれば、大切な命を守ることができるはずです。



池本雅裕さん  
(湯原分署)

声  
voice

参加者の声を聞きました



写真上：美甘地域医療ミーティング（平成24年11月14日） 写真左：勝山地域医療ミーティング（平成25年8月27日）

インタビュー② 医療を守っていくために私たちは何を？

医療を守るために地域がやるべきことは。真庭地域で行われている取り組みについて、真庭市健康推進課の大熊江美子課長に話を聞きました。

地域医療ミーティングを各地で

市では、平成24年度に「真庭市地域医療ミーティング推進協議会」を立ち上げ、2年をかけた市内7地区で医師、行政、地域の関係者などによるミーティングを開きました。これは、県の地域医療再生計画に基づいて行ってきたものです。地域医療ミーティングは県内各地で取り組まれています。その形態はさまざま。

真庭市では、全地区でのワークショップという形をとりました。そこでは、医師不足や通院時の交通問題などの課題が出されたほか、逆に在宅医療の充実や隣近所の声掛けによる重症化の防止、地域の健康づくり活動など良い面も見えました。ミーティングで専門家からいただいた「医師数の割には医療満足度が高い」という感想には、真庭の現状がよく現れていると思います。

医療の充実は地道な取り組みがカギ

市民が医療の主役として関係者と膝を交え、わがまちの医療について真剣に考える。これは、将来真庭市が医療を確保できるかどうかにつながる

医療も大切な地域資源  
それを守るカギは  
地道な取り組みです



おおくま えみこ  
大熊江美子  
健康推進課長

がります。医師が「来たい」と思う地域になれるかということです。真庭地域の課題はやはり医師不足。特に小児科医の不足は顕著です。「医師が足りない」と悲鳴を上げているだけではないけません。私たちは治療をイメージして「お医者さんでない」と思いがちですが、自分でもできることはあります。現在行っている小児救急の取り組みがその一つ。このように地域でできることに確実に取り組み、「真庭の病院で頑張りたい」と思われるような地域を築いていきたいですね。医療も大切な地域資源。その資源を守るための地道な努力は必ず将来実を結ぶはずですよ。

二次医療圏別の医師数（平成22年12月31日現在）

区分		県南 東部	県南 西部	高梁 新見	真庭	津山 英田
総数	人口10万人当たり	324.0	277.5	154.0	156.2	184.7
内科医	人口10万人当たり	116.0	94.2	59.6	70.1	78.7
小児科医	15歳未満1万人当たり	11.9	9.4	8.2	1.6	7.6
産婦人科医	出生数1,000人当たり	12.9	8.6	7.8	8.4	9.7

※岡山県保健医療計画（平成25年4月）より

単位：人

【一次医療圏】 真庭市

健康管理、予防、一般的な疾病や外傷などに対処して、住民の日常生活に密着した医療・保健・福祉サービスを提供する区域

【二次医療圏】 真庭市、新庄村

特殊な医療を除く、入院治療を主体とした一般の医療需要に対応するために設定する区域

【三次医療圏】 岡山県全域

一次・二次医療圏で対応することが困難で特殊な医療需要に対応し、より広域なサービスを提供する区域

# もしものときにあなたを、子どもを守る

小児救急相談電話  
**#8000**

岡山県では、病院が閉まっている夜間や休日に子どもの急病などで困ったときのために、小児救急相談電話「#8000」を開設しています。救急車を呼んでいいのか、医療機関へ連れて行った方がいいのか、それとも様子を見ればいいのか。悩んだ場合に適切なアドバイスを聞くことができます。

相談電話番号▶「#8000」

または「086-272-9939」

## #8000への電話のかけ方

次のような流れで聞かれますので、落ち着いてはっきりと、簡潔に答えましょう！

「はい、電話相談です」

「子どもは何歳ですか？」

「居住地はどこですか？」

「お父さんですか？お母さんですか？」

「相談内容は？」

心配な症状をチェック

## 小児救急ガイドブック



「これって急いで受診した方がいいの？」発熱や嘔吐、誤飲など、子どもが起こしやすい代表的な傷病をまとめたガイドブックです。具体的な症状が記載されており、該当すればすぐに受診。いざというときに役立ちます。

(市役所健康推進課、振興局・各支局の市民福祉課で入手できます)

## 大変だ！そのときどうする？

# 小児救急研修会

7/13

sun

14:00▶16:00

子どもが急に発熱した、病気になった、けがをした…。そのときあなたは何かができますか？

冷静な観察や適切な対処ができるために、また、適切に医療機関を受診できるように小児救急研修会を開催します。当日は事前予約による託児も行いますので、気軽にご参加ください。

■場所 勝山文化センター

■対象 乳幼児の保護者など子育てに関わっている人

■内容 ・栄徳隆裕先生（岡山大学病院小児科）のお話  
・真庭消防署職員の指導による実習  
水辺の事故の対処法、心肺蘇生法など

■参加費 無料

■申込方法 7月7日(月)までに電話でお申し込みください

■申し込み・問い合わせ先

岡山県真庭保健所 TEL0867-44-2990

[主催] 岡山県真庭保健所、真庭地域医療再生計画推進協議会

